

令和 6 年度 事業報告

施設名 まりも園

1 総 括

令和 6 年度、特養における虐待と思われる事象に係り、自治体による調査が行われた結果、令和 4 年頃から令和 5 年 10 月頃までの間に、当施設職員がオムツの中に手をいれてしまうご利用者 1 名の身体をシーツ類で巻いて、夜間寝かせていたことが確認され、この行為は高齢者虐待防止法第 2 条第 5 項第 1 号イにあたる要介護施設従事者等による高齢者虐待（身体的虐待）に該当すると判断されました。

被虐待者並びにそのご家族に大変心苦しい想いをさせたこと、当施設のみならず社会福祉法人まりも会に携わる地域住民を含む全ての方々に対し、信用失墜に至るような案件を発生させてしまったことを深く反省しております。

改善計画の実施内容につきましては、「9 特記事項」に参照させていただきます。

令和 6 年 12 月 24 日に特養のご利用者 1 名の新型コロナウイルスへの感染の発生を皮切りに、特養のご利用者 22 名、特養の職員 9 名、合計 31 名に感染が拡大しました。

感染者並びにリスク者に当たる特養のご利用者に対しては、感染拡大防止の観点より、隔離対応、ガウンテクニック（N95 マスク・フェイスシールド・ガウン・ディスポの着用）、消毒等の対応と、新規感染者の早期発見に努め、感染症の終息に向けて取り組みました。

施設管轄保健所より、令和 7 年 1 月 21 日に新型コロナウイルス感染症のクラスター終息のご判断をいただき、終息を宣言しました。

また、令和 7 年 2 月 28 日に特養のご利用者 1 名の感染性胃腸炎の症状の発生を皮切りに、特養のご利用者 8 名、特養の職員 2 名、合計 10 名に症状が拡大しました。

発症後に症状は 1 日～3 日で完治に向かいましたが、1～3 週間はウイルスが排出され続ける可能性があるため、二次感染を起こさぬよう症状の発生者に対してはノロウイルス同様の対応を令和 7 年 3 月 31 日まで実施し終息を迎えることができました。

令和 6 年度、提供するサービスでは、「夢プロジェクト」を掲げ、介護職員を中心に、ご利用者にやりたいこと（夢や希望）を聴取した上で、全職種の職員が協働して計画を立て、夢の実現を実践しました。参加者からは好評の声をいただくことができました。

人材育成では、「風通しの良い組織風土」を醸成するために、全職員が当事者意識を持ち、共助し合える一体的な運営を目指しました。特養部門での虐待案件に伴い、職員一人一人の意識改革を図ることができました。

地域交流の活性化では、地域で暮らす認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」を養成する講座である「認知症サポーター養成講座」の講師をキャラバンメイトの職員が担いました。

事業所間交流の活性化では、まりも園内の事業所間（特養とデイ）で出向研修を実践し、職員の知識及び技術の向上だけでなく、事業所間の職員交流にも繋がりました。

2 重点目標の取り組みと来期の課題

1) 提供するサービス

【 特養 】

【目標】

「うるおいのある生き生きとした生活」をテーマとし、新型コロナウイルスにより、内部完結していた活動を外部に向けて行くための取り組みを行います。

【取り組み状況と結果】

■ 「夢プロジェクト」について

ご利用者の希望に沿った支援を全職種の職員が協働して実践すること、職員一人一人が利用者の生活の質について、ご利用者の視点で考えることを目的に「夢プロジェクト」を立ち上げました。ケアワーカーが担当のご利用者から、やりたいこと（夢や希望）を個別に聴取した上で、フロア会議及び、グループ会議等にて全職種の職員で話し合い、企画を立案し、全職員で「夢プロジェクト」を実行しました。

実施日	利用者	家 族	内 容
7月9日	1名	1名	イオンモール東久留米店に家族と外出
7月10日	2名	1名	夢庵弥生店に利用者夫婦と家族で外食
10月17日	2名	0名	神代植物公園に花々を観賞に外出
10月26日	1名	1名	ジョルジュサング国分寺店に家族で外食
11月21日	2名	0名	ガスト武蔵小金井店に外食
11月29日	2名	0名	イトーヨーカドー武蔵小金井店に買い物のため外出
12月19日	5名	0名	食べたいデザートを購入し、園内での食事

参加者からは、好評の声をいただくことができました。また、ご利用者のご家族や地域等、社会との繋がりを持つことで普段の生活では引き出すことのできない身体及び社会的な機能を確認することができ、日常生活動作を評価することで有する能力に応じた自立支援の提供へと繋がりました。

【今後の課題】

ご利用者の生活を施設完結型の支援とならぬよう、人や地域との繋がりを意識した「夢プロジェクト」を実践するため、ご利用者及び家族に満足度のアンケート調査を実施し、改善点を確認した上で、継続します。

【 デイ 】

【目標】

「ご利用者の笑顔、職員も笑顔」をテーマに、外部に向けた活動を継続するとともに、原点回帰し、ご利用者のニーズに見合ったプログラム活動を提供することで、ご利用者の日常的な生活の質の向上を目指します。

【取り組み状況と結果】

ご利用者一人一人の生きて来られた歴史や趣味嗜好を職員間で綿密に情報共有し、個々のニーズに見合ったプログラム活動を検討した結果、毎週金曜日に、つまみ細工が趣味のご利用者が講師となり、「つまみ細工クラブ」の活動を開始しました。参加者の中には、認知機能の低下に伴い、作業が困難な方もいらっしゃいますが、ご利用者と職員及び、ご利用者同士で共助さ

れ、楽しく活動することができています。作成していただいた、つまみ細工はデイサービスの玄関に装飾し、明るい雰囲気となっています。

【今後の課題】

ご利用者一人一人が మరి も園を利用する上で、今まで以上にサービス提供以外の楽しみや遣り甲斐に繋がる目的を持っていただくため、ご利用者及びご家族に役割支援についてのアンケート調査を実施し、職員間で情報を共有し検討した上で、個別性のある役割支援の提供を目指します。

2) 人材育成

【目標】

「考え、共有し、実践する」をテーマに職員自らがご利用者の支援検討の中心で活躍することを意識した人材育成を実践します。

【取り組み状況と結果】

■ 中間管理職を中心に、現場で考え、現場が実践する仕組みの構築について

上半期：「風通しの良い組織風土」を中間管理職中心に現場で構築するため、東社協の登録講師派遣事業を活用し、「魅力ある職場作り研修」を開催しました。この研修から、介護現場は各々の職員の正しさをぶつけ合う信念対立が生じやすい職場であり、職員間で対話をする中で、互いの言葉の意味を探り合い、自分の考えと違う考えもあることを互いに承認し合うことの大切さを学びました。

下半期：利用者主体を念頭に置いた上での業務改善と、職員間及び職種間連携を強化するため、業務改善プロジェクトチームを創設し、朝・夕の申し送り以外に 16：00～16：30 の間に、その日の勤務者（介護・医務・相談等）にて、15 分ミーティングを開始しました。業務改善に向けて全職員へのアンケートを実施した上で、利用者支援の標準化を図るため、利用者個別カードを作成し実践しました。この取り組みは、新入職員の育成環境の整備に繋がりました。

■ 階層別の外部研修への参加について

東社協の研修一覧を基に、各セクションの主任が職員面談を行い、個々に必要な研修についての参加を促した結果、18 種の研修に延べ 38 名の職員が参加しました。また、法人内研修にも積極的に参加しました。結果、階層別の職責における知識及び技術を向上することができました。

【今後の課題】

■ 中間管理職を中心に、現場で考え、現場が実践する仕組みの構築について

令和 7 年 4 月より、業務改善プロジェクトチームから、ケアサービス向上委員会（支援のあり方検討会）へと移行し、利用者第一義と風通しの良い職場の視点を持ち、業務改善に繋げるための仕組みの構築を目指します。

■ 階層別の外部研修への参加について

研修委員会（研修 PT）を立ち上げ、外部研修へ参加後、事業所内でのフィードバック研修を開催し、事業全体の知識及び技術の向上に繋げる仕組みの構築を目指します。

3) 地域交流の活性化

【目標】

オレンジカフェ（喫茶まりもノルタルジア）を毎月開催し、認知症の人やそのご家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場を提供し、地域社会や地域住民からも信頼され必要とされる施設運営を目指します。

【取り組み状況と結果】

オレンジカフェ（喫茶まりもノルタルジア）を毎月第1日曜日（1月のみ第3日曜日）14:00～16:00に開催し、レクリエーション、茶話会、介護予防体操、作業、各種相談会、コンサート、野菜販売等を実施しました。

以下に活動内容を記します。

開催日	参加者	職員	レ ク	調 理	作 業
4月7日	10名	6名	ピンポン玉送り	たこ焼き	たこ焼き
5月5日	8名	5名	魚釣りゲーム	かしわ餅	かしわ餅
6月2日	5名	6名	ピンポン玉送り	プリンアラモード&クリームソーダ	
7月7日	5名	6名	流しそうめん	誕生日ケーキ	流しそうめん
8月4日	11名	3名	金魚すくい	たこ焼き	たこ焼き
9月1日	4名	5名	パタパタゲーム	レモンクリームタルト	
10月6日	2名	6名	座談	パンプキンタルト	
11月3日	3名	6名	棒サッカー	りんごと紅茶のケーキ	
12月1日	5名	5名	棒サッカー	トナカイシフォンケーキ	
1月19日	4名	5名	カルタ大会	お汁粉	
2月2日	7名	5名	豆つかみゲーム	デザート恵方巻	デザート恵方巻
3月2日	6名	5名	ラリーホッケー	ぷるぷるゼリーのチーズケーキ	

9月19日に、キャラバンメイト3名の職員が小平市立上水中学校を訪問し、1年生100名を対象に、地域で暮らす認知症の人やそのご家族を応援する「認知症サポーター」を養成する講座である「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

また、12月6日には、上水南町の住民を対象に、「認知症サポーターフォローアップ講座」にて、キャラバンメイト2名の職員が講師役を務めました。

【今後の課題】

オレンジカフェ（喫茶まりもノルタルジア）の職員がより一層、地域へ貢献するために、キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座を企画・開催し、講師を務める人）を増員します。

特養の利用者が地域と繋がる機会を設けるため、毎月2名程度の特養利用者の参加を募ります。

4) 事業所間交流の活性化

【目標】

まりも園内の事業所間及び法人内施設間で出向並びに交換研修を行うことで職員の専門的技術及び知識の向上、法制度の垣根を超えた法人内職員間の信頼関係の構築を目指します。

【取り組み状況と結果】

特養部門よりデイ部門へ特養介護職員 1 名が 8 月 1 日～3 月 31 日、デイ部門より特養部門へデイ介護職員 1 名が 3 月 1 日～3 月 31 日の期間に出向研修を実施しました。特養職員は、デイ部門にて接遇面やレクリエーション技術を学ぶことができました。デイ職員は特養部門にて介護技術や医療知識を学ぶことができました。また、事業所間の職員交流にも繋がりました。

ハラスメント防止研修及び身体拘束適正化研修へ合計 3 名のくるめ園職員がまりも園の主催する研修へ参加しました。根拠となる法制度は異なりますが、ご利用者を第一義とした支援の考え方には相違はありません。法制度の垣根を超えた法人内職員間の信頼関係を築くことができました。

【今後の課題】

法人の一体的運営を促進するため、くるめ園との一体的な組織運営の構築を目指します。また、内部研修の共催及び交換研修、共同会議等を実施します。

3 申出のあった苦情の対応

申立月	苦情の内容	対応と結果
なし		

4 発生した事故の内容

種別	件数	摘 要
転倒	1 件	10 月 9 日、当該利用者の左前頭部額に腫脹と擦過傷を確認し、協力医療機関に受診し CT 検査の結果、異常はありませんでした。
骨折	1 件	11 月 29 日、当該利用者のベッドセンサーの反応があり、訪室するとベッド脇の車椅子との間に長座位に座っている所を発見し、外傷及び痛みの確認を行うと臀部及び右大腿部付近の痛みが聞き受けられ、整形外科に受診しレントゲン・CT・MRI 検査の結果、右大腿転子部骨折の診断を受け入院となりました。

5 職員体制（令和 7 年 3 月 31 日）

【 特養 】

職 種	正規職員	非正規職員	常勤換算数	法令配置数
介護職員	13	6 (3.9)	16.9	(介護＋看護) 17
看護職員	0	6 (3.8)	3.8	常勤 1
生活相談員	1		1.0	常勤 1
介護支援専門員	1		1.0	常勤 1 兼業可
機能訓練指導員	1		1.0	常勤 1
事務職員	2		2.0	なし
栄養士	1	1 (0.8)	1.8	常勤 1
調理員	3	5 (3.3)	6.3	なし
フロアパート		2 (1.0)	1.0	なし

掃除		2 (0.9)	0.9	なし
副施設長	1		1.0	なし
施設長	1 (0.8)		0.8	常勤 1 他事業兼務可
合計	24 (23.8)	22 (13.7)	37.5	22

【 デイ 】

職 種	正規職員	非正規職員	常勤換算数	法令配置数
介護職員	2 (内 1 名相談 兼務) (1.7)	7 (4.6)	6.3	3
看護 (機能訓練 兼務)		3 (1.0)	1.0	提供時間内に 1
生活相談員	2 (内 1 名介護 兼務) (1.3)		1.3	提供時間内に 1
運転員		3 (0.7)	0.7	なし
所長	1 (0.2)		0.2	常勤 1 他事業兼務可
合計	4 (3.2)	13 (6.3)	9.5	6

6 研修の実施状況

1) 施設内研修

研修名・テーマ	講師	参加職種	開催時期	延人員
ハラスメント防止研修	施設長	全職員	5 月 7 日	40 名
身体拘束適正化研修	施設長/デイ介護	全職員	5 月 21 日 12 月 17 日	45 名 56 名
事故発生防止研修	特養介護/デイ介護	介護・看護・相談	6 月 18 日 8 月 20 日	45 名 27 名
BCP 訓練 (災害対策)	特養看護/ 防災委員	全職員	7 月 16 日 9 月 17 日	54 名 37 名
BCP 訓練 (感染対策)	施設長	全職員	8 月 6 日 2 月 18 日	38 名 22 名
BCP 研修 (災害対策)	施設長	全職員	7 月 16 日 9 月 17 日	53 名 36 名
BCP 研修 (感染対策)	管理栄養士	全職員	8 月 6 日 1 月 21 日	50 名 35 名
高齢者虐待防止研修	特養介護/ 施設長	全職員	10 月 15 日 12 月 17 日	37 名 56 名
コンプライアンス研修	施設長	全職員	11 月 19 日	54 名
感染症対策研修	管理栄養士	全職員	8 月 6 日 1 月 21 日	50 名 36 名
褥瘡予防研修	施設長	介護・看護・相談	2 月 18 日	23 名

2) 施設外研修

研修名・テーマ	講師	参加職種	開催時期	延人員
おむつのあて方研修	花王	特養介護	4～6月	17名
定額減税 開設セミナー	応研株式会社	事務員	4月25日	1名
多職種連携 ^① コーチング ^② スキル研修	東社協	機能訓練	6月5日	1名
新任職員の定着育成入門研修	東社協	特養介護	7月29日	1名
介護報酬と新しい栄養評価基準	東社協	管理栄養士	8月1日	1名
直接介護におけるリスクマネジメント	東社協	特養介護	8月4日	1名
社会福祉法人会計入門研修	東社協	管理、主任	8月6日	3名
接遇マナー研修	東社協	特養介護	8月7日	1名
採用力・広報力研修（入門編）	東社協	管理	8月17日	1名
魅力ある職場作り研修	東社協	管理、主任	9月3日	12名
安全対策担当者養成研修	全老協	特養介護	9月4日	3名
スキルアップ ^③ 研修医療知識編	東社協	特養介護	9月30日	4名
アンガーマネジメント研修	東社協	特養介護	10月9日	3名
採用力・広報力研修（実践編）	東社協	管理	11月12日	1名
チームマネジメント研修	東社協	特養介護	11月15日	1名
生産性向上セミナー	福祉保健財団	管理	11月27日	1名
苦情解決担当者研修	東社協	特養介護	11月30日	1名
指定更新事業者研修	東京都福祉保健局	管理	12月7日	1名
アサーティブ ^④ コミュニケーション研修	東社協	特養介護	3月2日	1名

3) 法人内研修

研修名・テーマ	講師	参加職種	開催時期	延人員
事例検討及び研究発表会（長時間支援）	清瀬療護園職員	全職種	5月16日	5名
施設間交流会（まりも園を知る）	まりも園職員	全職種	6月20日	7名
事例検討及び研究発表会（障害特性の理解と専門性を活用した支援手段）	清瀬喜望園職員	全職種	7月18日	6名
法人研修（マネジメント&問題解決）	本部	全職種	8月21日	8名
施設間交流会（小金井センターを知る）	小金井センター職員	全職種	8月15日	4名
事例検討及び研究発表会（自由とは何か）	くるめ園職員	全職種	9月19日	8名

施設間交流会（清瀬療護園及びカーサマリモを知る）	清瀬療護園及びカーサマリモ職員	全職種	10月17日	5名
事例検討及び研究発表会（身体的虐待）	まりも園職員	全職種	11月21日	7名
法人研修（スキルアップ）	本部	全職種	12月12日	5名
施設間交流会（清瀬喜望園を知る）	清瀬喜望園職員	全職種	12月19日	3名
法人研修（運営者・管理者の役割、虐待を防止するための日常的な取り組み）	本部	全職種	2月6日	5名
施設間交流会（くるめ園を知る）	くるめ園職員	全職種	2月20日	5名
事例検討及び研究発表会（他機関連携を要する利用者支援）	小金井センター職員	全職種	3月21日	7名

7 サービス単位ごとの年間利用者延べ総数

区 分	利用者延べ数
特別養護老人ホーム	16,617名
デイサービス	5,216名

8 行事の実施状況

【 特養 】

実施月日	行事名	参 加 者			
		利用者	職 員	その他	計
4月2.6日	お花見ドライブ（武蔵野市役所周辺・小金井公園内）	31名	10名		41名
5月1.2.3日	菖蒲湯	46名	12名		58名
5月19日	アニマルセラピー（犬・うさぎ等）	44名	15名	1名	60名
6月30日	ホーム喫茶	46名	9名		55名
7月28日	納涼祭	46名	18名	20名	84名
8月25日	ホーム喫茶	43名	8名		51名
9月21日	敬老会	45名	14名	12名	71名
10月19日	秋行事（まりもファームで収穫されたサツマイモで焼き芋・スイートポテトを調理）	45名	10名		55名
11月17日	ホーム喫茶	44名	5名	10名	59名
12月18.19.20日	ゆず湯	47名	12名		59名
12月21日	冬行事（クリスマス会）	48名	11名		59名

2月3日	節分会	47名	6名		53名
2月8日	新年会（祝膳・正月遊び等）	48名	17名	8名	73名
3月3日	雛祭り会	44名	4名		48名
3月16日	ホーム喫茶	46名	11名		57名
4月27日.6月22日.7月20日.9月28日.10月26日.11月23日.1月25日.2月22日.3月22日	音楽療法	323名	27名		350名
4月7日.5月7日.6月2日.7月20日.8月24日.9月28日.10月26日.11月23日.12月28日.1月25日.2月22日.3月3日	誕生会	534名	31名		565名

【 デイ 】

実施月日	行事名	参 加 者			
		利用者	職 員	その他	計
4月6.8.11.12日	お花見会（小金井公園/学芸大学）	13名	8名		21名
4月10日	外出会（羽村市花とみずの祭り）	25名	12名		27名
4月20日	101歳を祝う会	19名	7名		26名
4月22日	調理レク（お好み焼き）	19名	6名		25名
4月27日	夕食会（春野菜の天婦羅・たけのこご飯・かきたま汁・わかめと胡瓜しらすの酢の物・シャーベック）	19名	6名		25名
5月7日	母の日会	17名	7名		24名
5月23日	外出会（生田緑地バラ苑/神代植物公園）	23名	12名		35名
5月25日	夕食会（カツオ梅紫蘇フライ・ご飯・スナップエンドウのお浸し・みそ汁・パンナコッタ）	18名	8名		26名
6月12日	父の日会	19名	7名		26名
6月24日	お買い物ツアー「東久留米イオンモール」	18名	11名		29名
6月29日	夕食会（手作りの餃子とブロッコ	19名	8名		27名

	リーのあんかけ・ご飯・もやしの ゆかり和え・かきたま汁・カルピ スのゼリー)				
7月6日	七夕会	19名	7名		26名
7月24日	夕食会（トマトの夏野菜カレーと 人参とピーマンのお浸し・七夕ゼ リー)	16名	5名		21名
8月13日	調理レク（クリームあんみつ)	17名	5名		22名
8月29日	夏祭り	20名	8名	2名	30名
8月31日	夕食会（夏のちらし寿司・オクラ とツナの胡麻和え・豆腐と三つ葉 のお吸物・ピーチゼリー)	17名	7名		24名
9月13日	敬老会	22名	7名	11名	40名
9月28日	夕食会（ハッシュドビーフ・海老 とブロッコリーのサラダ・コンソ メスープ・畑で取れたピーナッツ 南瓜の素揚げ・ぶどうゼリー)	17名	5名		22名
9月30日	調理レク（たこ焼き)	14名	7名		21名
10月5日	調理レク（抹茶どら焼き)	16名	7名		23名
10月9日	秋の大運動会	17名	8名		25名
10月23日	お買物ツアー	18名	8名		26名
10月26日	夕食会（白身魚のホイル焼き・ご 飯・みそ汁・さつま芋甘煮・茄子 の焼き浸し・パンプキンプリン)	20名	8名		28名
11月4日	学芸大学学園祭	16名	5名		21名
11月21日	調理レク（すいとん)	18名	6名		24名
11月25日	外出会（航空公園/昭和記念公園)	21名	9名		30名
11月29日	100歳のお誕生日会	17名	7名		24名
11月30日	夕食会（天婦羅・ご飯・お吸物・ わかめとしらすの酢の物・みかん ゼリー)	18名	8名		26名
12月25日	クリスマス会	18名	8名		26名
12月28日	夕食会（おでん・おいなりさん・ ドーナッツ)	20名	8名		28名
12月30日	忘年会	22名	7名		29名
1月4.6.8.9.10日	初詣	24名	10名		34名

1 月 7 日	味噌作り_大妻女子大学	15 名	6 名	10 名	31 名
1 月 17 日	新年会_若香月会日本新舞踊	24 名	6 名	9 名	39 名
1 月 25 日	夕食会（ハンバーグ・ご飯・マカロニサラダ・アイスクリーム）	19 名	8 名		27 名
1 月 27 日	調理レク（白玉お汁粉）	17 名	5 名		22 名
1 月 30 日	声楽コンサート	21 名	6 名	2 名	29 名
2 月 1 日	節分会	18 名	6 名		24 名
2 月 22 日	夕食会（エビチリ・ご飯・たまごスープ・菜の花のお浸し）	19 名	9 名		28 名
3 月 3 日	雛祭り会	18 名	7 名		25 名
3 月 11 日	サレジオ小学校の演奏会	18 名	6 名	12 名	36 名
3 月 18 日	サレジオ学院の演奏会	18 名	6 名	23 名	47 名
3 月 29 日	夕食会（ヒレカツ・ご飯・かぶの昆布茶和え・茹でキャベツ・厚揚げの南蛮漬け・新玉ねぎのみそ汁・苺のフルーチェ）	17 名	9 名		26 名
3 月 31 日	お花見	7 名	3 名		10 名
4 月 18.23 日.5 月 10 日. 6 月 10.11.15 日. 7 月 15 日. 9 月 24.25 日. 10 月 21 日. 11 月 10.11.12 日. 2 月 10.12.25 日. 3 月 14.20 日（計 18 日間）	お誕生日茶話会（キャトルキャラクター・麻布茶房・檜の木・ポエム・コメダ珈琲・ガスト・ココス・ケンタッキー）	32 名	18 名		50 名
4 月 13 日. 5 月 6 日. 7 月 13 日. 8 月 10 日. 9 月 14 日. 10 月 12 日. 11 月 9 日. 12 月 14 日. 1 月 11 日. 2 月 8 日. 3 月 8 日（計 11 日間）	音楽療法	177 名	66 名		243 名

【 調理 】

実施日	内 容	利用者人数
4 月 26 日	郷土料理（福島県：けんちんうどん）	64 名
5 月 31 日	郷土料理（大阪府：かやくご飯）	63 名
6 月 28 日	郷土料理（鹿児島県：油素麺）	66 名

7月31日	郷土料理（青森県：ほたてまぜご飯）	56名
8月31日	郷土料理（岐阜県：鶏ちゃん焼き）	62名
9月30日	郷土料理（新潟県：じわ）	57名
10月29日	郷土料理（愛媛県：醤油飯）	58名
11月28日	郷土料理（長崎県：長崎ちゃんぽん）	58名
12月21日	郷土料理（山形県：イモ煮）	63名
1月29日	郷土料理（秋田県：きりたんぼ鍋）	59名
2月24日	郷土料理（福井県：ぼっかけ丼）	64名
3月27日	郷土料理（奈良県：にゅうめん）	64名

9 特記事項

区 分	内 容
要介護施設 従事者等による 高齢者虐待（身体的 虐待）	<p>7月2日に小平市高齢者支援課より、特別養護老人ホームまりも園での公益通報があった旨の報告を受けました。調査趣旨は、弄便行為のあるご利用者に対する身体拘束の虐待の疑いでした。</p> <p>7月9日、16日、17日、22日、24日、25日、8月5日、6日の計8日間、調査が実施され、10月8日、小平市長名で調査結果の通知があり、令和4年頃から令和5年10月頃までの間に、職員がオムツの中に手を入れてしまうご利用者1名の身体をシーツ類で巻いて、夜間寝かせていたことが確認されたため、この行為は、養介護施設従事者等による高齢者虐待（身体的虐待）に該当すると判断されました。</p> <p>改めて、内部での調査検討を全職員が関与する形で行った上で、経営者及び管理者の責任において改善計画書を作成し、11月6日に小平市長へ提出し、全職員が当事者意識を持ち改善計画を実践してきた結果を管理者が改善報告書に取り纏め、令和7年1月21日に小平市長へ提出しました。</p> <p>改善計画の実践内容を以下に示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 身体拘束適正化会議の委員会活動の役割について、形骸化している議事進行内容を見直しました。 ② 全職員を対象に、高齢者虐待防止研修、身体拘束適正化研修及びコンプライアンス研修を開催し、法制度理解を深め意識改革を図りました。 ③ 業務改善プロジェクトチームを創設し、利用者主体を念頭に置いた上で、業務を見直し、部署間及び職種間連携を強化しました。 ④ 朝・夕の申し送り以外に、16:00～16:30の間、その日の勤務者（介護・医務・相談等）で、15分ミーティングを実施し、職員間及び職種間連携を強化しました。 ⑤ 風通しの良い職場（声を掛け合い、教え合い、助け合うことができる遣り甲斐のある職場）及び全職員が当事者意識を持つことのできる職場とするため、目標理解研修（法人理念の理解）、介護報酬・根拠法の理解研修（まりも園の理解）を全職員対象に実施しました。

	<p>⑥ 第三者の目がある環境を作ることで、職員の不適切な支援を抑止しました。</p> <p>⑦ 改善計画実施後に、改善状況を確認しました。</p> <p>案件に対する、改善計画を実践した結果、職員一人一人の意識改革を図ることができました。私たちは何を目的に業務を行うのか。それこそが法人理念であり、「人を大事にし、人と繋がり、その人らしく生きる」という目的を達成するために絶え間なく、自らが考え行動し続けることなのだと理解した上で、ご利用者の生きてこられた人生を繰り込み、介護を行うということ。また、私たちの行っている介護保険事業は公費によって運営される公的な性格の強い制度であり、法令を遵守した適正なサービスを提供しなければならないことを職員一人一人が自覚をし、行動することへの意識が高まりました。</p> <p>そして、改善計画の実践に伴い、最も変化が生じたのは管理者及び中間管理職員の主体性を持った行動力と社会福祉法人まりも会職員としての帰属意識の醸成です。虐待事案の発生は個人問題ではなく、組織的問題であり、不適切な行為であることを認識している職員が相互指摘することなく、見て見ぬ振りをするにより、その不適切な行為の存在が些細なものであったとしても、蓄積及びエスカレートすることにより、虐待へ発展します。不適切な行為を目にしたり、耳にした時点で、虐待の芽を摘む取り組みを意識的に考え行動し、課題を解決する姿勢が見られるようになりました。</p> <p>二度とこのような案件を発生させないために、施設長として日常から率先して介護現場に関わる姿勢を持ち続け、問題が発生する前に、誰かが困っている状況に即応し、随時に職員を招集し話し合いを基に要因を分析した上で、課題を一つ一つ解決する行動を示します。また、当施設職員がご利用者の生きてこられた過程や多様性を尊重した支援を実践できるよう、職員及び職種間で相談し、助け合える、風通しの良い組織体制を構築し、維持できるよう努めて参ります。</p>
--	---